

# 北海道ゴルフ 2024



2024年7月

旅のチカラ研究所 植木圭二

ゴルフとグルメを目的に初夏の北海道に行ってきた。そのために交通費と宿泊費を抑えるという旅のスタイルをとった。これは他の旅にも応用できると思い、ここで紹介したい。

## ■旅の目的

今回の旅の目的は北海道でゴルフとグルメを楽しむことで、そのために交通費や宿泊費といういわゆる旅の基本費用を抑えるというメリハリある計画を立てた。

この“メリハリ”という言葉は大変便利なもので、貧乏旅行でも格好がつくからありがたい。いや、恰好の問題ではなく、せっかく旅に出たのに節約、節約ではあまりに寂しいからメリハリをつけたお金の使い方の方は感動が多く、思い出にも残る。

私は過去に10回程度、ゴルフで北海道を訪れているが、それらは旅行会社のゴルフパッケージツアーか、飛行機とホテルだけのフリープランを利用していた。今回はどれだけ基本費用を抑えられるか試したく旅行会社を一切通さない個人旅行で計画した。

## ■飛行機

旅行業界の統計によると旅行費用全体に占める支出割合の第1位が交通費、第2位が宿泊費になっており、そして飲食費や土産物代が続く。そこで私は、まずは交通費それも飛行機代に注目した。

飛行機代を安くするためにLCC (Low Cost Carrier : 格安航空) の「ピーチ」を選んだ。ピーチは季節や曜日によっては東京から北海道への最安値 3980 円などと宣伝している。しかしこれには消費税も支払手数料も入っておらず、座席指定も預け荷物も別途費用がかかる。座席や荷物はともかくも消費税は法律なので支払わない訳にはいかず、支払手数料はどんな支払い方法でもそれなりの手数料をとられるから、私はこの価格表示にはちょっと合点がいけない。

それはさておき、それら必須費用を加えて季節による料金変動や時間帯を考慮すると最安値の2倍くらいになってしまうが、それでも大手航空会社に比べればかなり安い。

ピーチは羽田空港ではなく成田空港発着なので、神奈川県に住む私にとっては空港までのアクセスの費用や時間も問題になる。特に朝早い便は間に合わない。そこで今回参加メンバーは私を含めて全員近所に住んでいるので、1台の車で成田空港に行くことにして時間の心配をなくし、交通費も電車で行くよりも安くなる。

さらに車なのでゴルフバッグを持参することができ飛行機の預け荷物とした。北海道に着いてしまえばレンタカーを借りるのでゴルフバッグは車に積みっぱなしにするから空港内だけ持ち運べばよい。最近では“2024年問題”で宅配便も高騰しており、北海道へゴルフバッグを送ると片道で3000円以上になる。ピーチの預け荷物は別途2200円必要だが、それでも宅急便よりも安い。

ピーチを予約して、しばらくしてからANAのタイムセールがあつて、ピーチと同じくらいの価格で北海道へ行けることが分かった。しかし私が予約したピーチの最も安いチケットはキャンセル不可で1円も戻ってこないから、そのためANAへの変更は諦めた。ちなみにANAなどの大手航空会社はゴルフバッグも20kg以下ならば無料で預けられる。

## ■ 駐車場

車で成田空港に行くので駐車場が必要になる。空港近くの民間の駐車場はどれも似たようなものだがサービスによってかなり価格差がある。特に空港に自分の車で乗り付け、帰って来た時に空港までその車を持ってきてくれるサービスは便利で、私も子供たちが幼い頃に海外旅行に行った時には使っていた。ただしそれなりの費用がかかる。

送迎方法や洗車の有無などで価格は相当上下する。それに基本料金と1日当たりの料金が加わり、消費税なども含めると駐車場によってかなり差が出る。

これは“apple to apple”で比べないと意味がない。

このapple to appleという表現はビジネスでよく使われ、日本語の“同じ土俵”と同意語だが、分かり易いので私はよく使っている。確かにリンゴとリンゴで大きさや甘さを比較しても意味があるが、リンゴとミカンや、リンゴとブドウなどでは比べても単に好き嫌いになってしまう。

今回は全く同じ条件になるようにして全部は調べ切れないが数社を調べた。その上でリピート率が高いという評判の「ABCパーキング」を選んだ。おそらくここが成田空港周辺の駐車場の最安値かもしれない。

## ■ 宿泊費

交通費の次は宿泊費が問題になる。まず、私の脳裏に2週間前に行った北海道の離島の旅で泊まった「アパホテル&リゾート札幌」が浮かんだ。このホテルはリゾート施設なので豪華な部屋や朝食、大浴場も魅力的で、早期予約ならば1人7000円程で泊まれる。

ただ同行メンバーの中に札幌の歓楽街すすきの大好き人間がいて、すすきのへの利便性も考慮しないとイケない。ホテルからすすきのへの往復のシャトルバスは出ているものの、彼があまり良い顔をしないので没になった。

私は昨年も北海道ゴルフ旅行をしており、その時は旅行会社のフリープランを利用したが、泊まった「ホテルリソル札幌中島公園」は比較的安くて、すすきのまで徒歩圏で設備もそれなり良かった。

ただし立地環境に多少難があり、すすきのの中心まで歩いて10分くらいなのでラブホテルが点在している。その中には2023年7月に発生した猟奇的な殺人事件（男性の首が切断され、犯人の女性が頭部を持ち去った事件）の現場になったラブホテルも近い。しかし、すすきのの大好きな彼はそんな事件も全く意に介さず、むしろとそこがいいと言い始めた。彼はそのことも“ネタ話”にするのだろう。

あとは価格の問題になる。ツインルームにエキストラベッドを追加し3人部屋にして、朝食をなくして素泊まりにするとかなり安くなった。ゴルフなので早朝に宿を出ることが多く、プレー後はゴルフ場の大浴場に入るからホテルは寝るだけだと割り切った。

やはり旅は目的によって実現手段が変わる。私の経験からすれば、旅を企画する時はもちろん、実際に現地で問題が発生しても旅の目的に照らし合わせればおのずと解が見えてくるものだ。

## ■ゴルフ

今回の旅は2泊3日で、ゴルフは3ラウンド行った。もちろん違うゴルフ場なので、空港でレンタカーを借りて、その機動力を生かした。

北海道特有のねっとりした芝には苦勞したが、広いフェアウェイは実に雄大で素晴らしい。ゴルフ好きならば、たまにはこのような環境でやった方がいい。これもまたメリハリだろう。

今回初めて使った「クラークカントリークラブ」は、若い新人キャディとその指導役としてベテランキャディが付いた。もちろんキャディフィーは1人分なのは言うまでもないが、ラッキーと言っていいだろう。よく動く初々しい新人と経験・知識が豊富なベテランの両方に接することができて実に良かった。

この2人を見ていて私は、刑事ドラマの新米刑事とベテラン刑事のコンビを思い出した。好奇心旺盛でチャレンジングな若い刑事と経験豊富で冷静で老獪なベテラン刑事とが助け合って事件を解決するもので、これは刑事という職業に限ったことではなくいろいろな職業にも通じるだろうと感じた。

このように相反するような2つの魅力がもしも1人の人間に両方備わっていれば、その人間は常に成長していけるかもしれない。そんなことを考えていたら、私はある人物の顔が頭に浮かんだ。それは大リーガーのあの大谷翔平だ。彼の魅力や実力の秘密が分かったような気がした。

それにしてもゴルフの方は、あまりの強風で散々だった。

昨年プレーして綺麗な景色と整備状況に感動した「随縁カントリークラブ恵庭コース」は今年も期待を裏切らなかった。

その綺麗なフェアウェイで面白いものを見つけた。直径1mくらい高さ30cmくらいの円柱状のもので、最初は動物かと思ったが、動物にしては動きが機械的で、よく見るとそれは自動草刈機だった。家庭用の掃除ロボットを2回りくらい大きくしたもので、草を刈っている。

私が電機メーカを定年退職して10年近くなり、電機業界とは疎遠になっているが、今ではこんなものまで開発されて実用化されていることに驚いてしまった。

有名な「ニドムクラシック」は過去何回も使っているが、今回あまり感動がなかった。他のメンバーも同様な意見だったので、何十年も高評価を続けるのは難しいのだろう。やはり栄枯盛衰なのか。キャディの例え話でいえば、老獺で百戦錬磨だけではだめで、初々しさもこのゴルフ場には必要なのかもしれない。

## ■グルメ

北海道と言えばジンギスカン鍋だが、私は2カ月前に盛岡の「羊屋えびす盛岡店」で食べた“ラム生肩ロース肉”と“スーパーレアのラムヒレ肉”が忘れられずにいた。そして2週間前には札幌の姉妹店「羊屋えびす札幌別邸」を訪れ、そして今回は「羊屋えびす札幌本店」を訪れた。

この店のラム肉、特にラムヒレ肉は絶品で、今回一緒に食べたすすきの大好きな彼も絶賛していた。(料理の詳細は旅行記「青森・岩日帰り旅 2024」と「北海道の島旅 2024」参照)

北海料理店「古艦帆来(コロポックル)」はジンギスカン鍋以外のほとんどの北海道料理が味わえて、なかなかお洒落な店なのでいつも賑わっている。もちろん予約なしではとても入れない、そして予約もなかなか取れない。広い店なので大手旅行会社のツアーも利用しているようで、ガイドに連れられて団体客も来ている。隠れた名店ではないが万人受けする人気店といった方が良さそう。

この店で食べた“真ホッケ”と“本物のシシャモ”が美味かった。

実は、この2つの魚は北海道に来ないと食べられない。

一般に本州で出回っているホッケは縞ホッケで、ロシア産が多い。真ホッケは北海道で獲れて北海道内での消費がほとんどだから北海道に来ないと食べられない。大味の縞ホッケに比べて真ホッケは脂がやや少なめで身がしまっている。

シシャモも普通にスーパーで売っているのはカラフトシシャモと呼ばれるもので、実はロシアや北欧などで多く獲れるカペリンという魚でシシャモではない。本物のシシャモは日本だけ、それも北海道南部の太平洋側でのみ獲れるので、本州はもちろん北海道でもあまり流通していない。鮭と同じ回遊魚で、川で産卵し海へ出て成長してまた川へ戻ってくる。

札幌と言えば味噌ラーメンだろう。すすきには人気ラーメン店がたくさんあり、店の前にはいつも行列ができています。

今回はその中の「けやき」本店を訪れた。短時間だがもちろん並んで入店した。狭い店内にはカウンター席が9席あるだけで、これでは並ぶのは致し方ないのかもしれない。それでも多くの人たちが並ぶのだからどうしてもその味に期待してしまう。

そしてこの店はその期待を裏切らなかった。豚鶏出汁の濃厚な味噌スープに中細のちぢれ麺が絡み、シャキシャキした白髪ネギと炒めた野菜がマッチしており、実にいい味に仕上がっていた。

隣の席で食べていた常連らしい北海道民に話を聞いたら、冬の寒い時期に外で並んでからこの熱々で濃厚な味噌ラーメンを食べるのが最高だと言っていた。これもまたメリハリだろう。

## ■メリハリ

メリハリについて、今回の旅を費用の面で振り返ってみる。

旅行会社のフリープランは飛行機とホテルしかついていないから、それと **apple to apple** になるように計算すると、2泊3日の旅が約 27400 円になった。これはまずまずの金額だろう。

旅の基本費用を安く抑えたので遊興費のゴルフと飲食につき込むことができ、その遊興費総額は約 63000 円になった。基本費用の2倍以上も遊興費に使ったことになる。メリハリとはそういうものだろう。特出していないとメリハリとは言えない。

## ■旅の記録

実施は 2024 年 7 月 1 日（月）～7 月 3 日（水）の 2 泊 3 日、その行程を示す。

- ・ 1 日目 4 時に自宅を友人の車で出発、成田空港近くの「ABC パーキング」に車を預け、7 時 45 分成田空港発のピーチ便に乗り 9 時 35 分新千歳空港着  
レンタカーを借りて、北海道ラーメン「久楽 北広島店」で昼食  
「クラークカントリークラブ」でゴルフ、  
「ホテルリソル札幌中島公園」チェックイン、すすきのに繰り出し  
ジンギスカン料理店「羊屋えびす札幌本店」、ラーメン屋「けやき」で食べる
- ・ 2 日目 7 時に宿出発、「随縁カントリークラブ恵庭コース」でゴルフ、16 時ホテルに戻り、すすきのの北海料理「古艦帆来（コロポックル）」で夕食、バーで飲む
- ・ 3 日目 5 時 30 分に宿を出発、「ニドムクラシック」でゴルフ、  
14 時 15 分新千歳空港発のピーチ便に乗り 16 時成田空港着、  
パーキングに預けてあった友人の車に乗り 19 時 30 分帰宅

ゴルフ代や飲食費を除いた交通費と宿泊費は 1 人当り 37517 万円、それにゴルフ代や飲食費などを加えると 98600 円になった。

### ・ 交通費 27450 円

飛行機	17300 円	(成田-新千歳ピーチ往復 ゴルフバック送料別途発生)
レンタカー	5354 円	(オリックスレンタカー3日間1台分 16060 円の 1/3)
同ガソリン代	574 円	(北海道内走行1台分 1723 円の 1/3)
同高速道路代	510 円	(北海道内走行1台分 1530 円の 1/3)
成田パーキング	612 円	(ABC パーキング 3日間1台分 1837 円の 1/3)
ガソリン代	633 円	(自宅～成田往復1台分 1900 円の 1/3)
高速道路代	2467 円	(自宅～成田往復1台分 7400 円の 1/3)

### ・ 宿泊 2泊で 10067 円

ホテル	9000 円	(リソル札幌中島公園 素泊まり1泊 4500 円/人)
ホテル駐車料金	1067 円	(1台2泊分 3200 円の 1/3)

### ・ ゴルフ関連 44470 円

クラークカントリークラブ	12210 円	(キャディ付き スループレー)
--------------	---------	-----------------

随縁カントリークラブ恵庭コース	16210 円 (セルフ スループレー)
ニドムクラシック イコロコース	11650 円 (セルフ スループレー)
ゴルフバック送料	4400 円 (ピーチの預け荷物代 往復)
・ 飲食費など	約 18600 円
羊屋えびす札幌本店	4600 円 (1 人分 酒類含む)
コロボックル	4000 円 (1 人分 酒類含む)
その他昼食や飲み代など	約 8000 円 (1 人分 酒類含む)